

一般角 (2)

～ 動径の表す一般角～

講師
矢作 裕滋

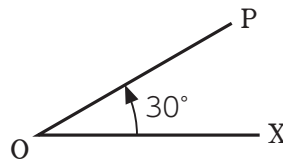
回転には、正の向きと負の向きがありました。
また、始線と動径を用いて、 360° より大きい角や負の角を表すことができました。前回学んだ内容を発展させ、今回は動径の位置が同じでもさまざまな大きさの角を表せることを学習しましょう

学習のポイント

- ① 360° よりも大きい角の表し方
- ② 負の角の表し方
- ③ 一般角の表し方

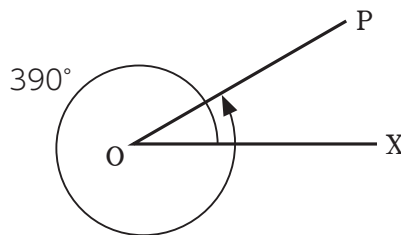
1 360° よりも大きい角の表し方

時計の針の回転と逆の向きに 30° 回転



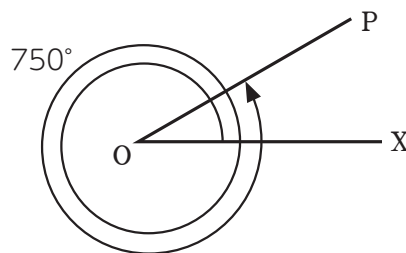
時計の針の回転と逆の向きに 390° 回転

$$390^\circ = 30^\circ + 360^\circ \times 1$$



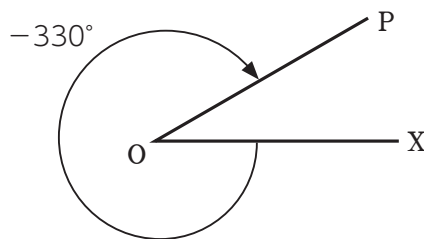
時計の針の回転と逆の向きに 750° 回転

$$750^\circ = 30^\circ + 360^\circ \times 2$$

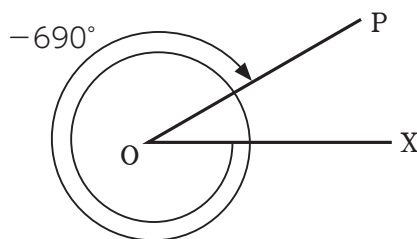


2 負の角の表し方

時計の針の回転と同じ向きに -330° 回転
 $-330^\circ = 30^\circ + 360^\circ \times (-1)$



時計の針の回転と同じ向きに -690° 回転
 $-690^\circ = 30^\circ + 360^\circ \times (-2)$



3 一般角の表し方

30° , 390° , 750° , -330° , -690° の動径の位置はすべて同じです。

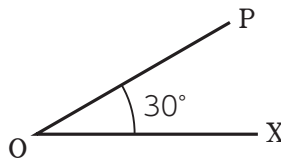
$$390^\circ = 30^\circ + 360^\circ \times 1$$

$$750^\circ = 30^\circ + 360^\circ \times 2$$

$$-330^\circ = 30^\circ + 360^\circ \times (-1)$$

$$-690^\circ = 30^\circ + 360^\circ \times (-2)$$

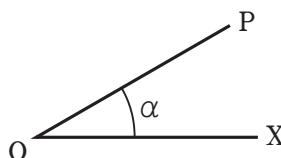
$$30^\circ = 30^\circ + 360^\circ \times 0$$



図の動径 OP の表す一般角は、 $30^\circ + 360^\circ \times n$ (n は整数) と表します。

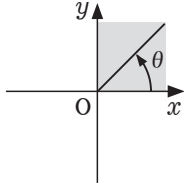
動径の表す一般角

角 α の動径の表す一般角は、
 $\alpha + 360^\circ \times n$ (n は整数)

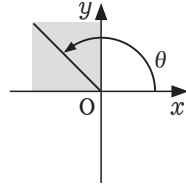


●角と象限

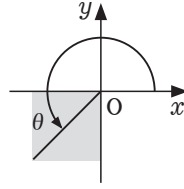
第1象限の角



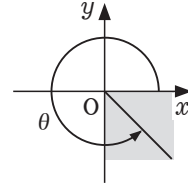
第2象限の角



第3象限の角

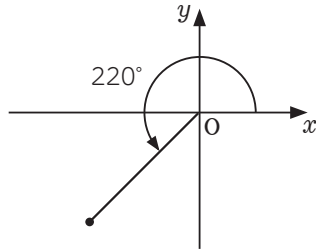


第4象限の角

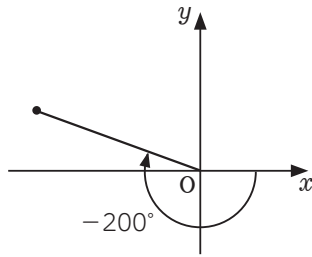


角が第何象限の角であるか調べてみよう。

例 (1) 220° は第3象限の角である。

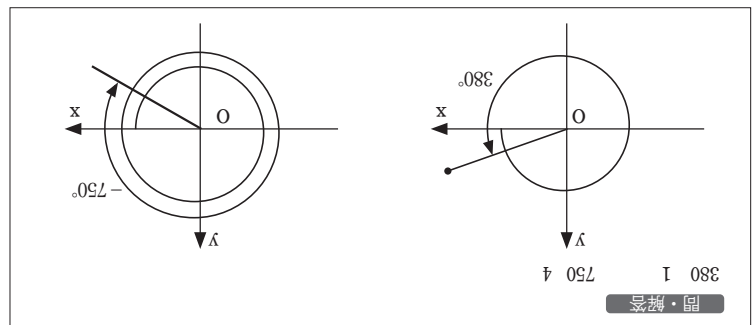


(2) -200° は第2象限の角である。



問 380° , -750° はそれぞれ第何象限の角であるか。

Handwriting practice area consisting of multiple horizontal dotted lines for writing the answer to the question.



このページ掲載の文章・画像の無断転載及び商用利用を固く禁じます。